

<平成26年度春季大会シンポジウム企画案>

スサビノリの持続的生産への挑戦

日時・場所：平成26年3月27日（木）9:00～16:45・（第x会場）

企画責任者：三上浩司（北大院水）・小林正裕（水研セ中央水研）・川村嘉応（佐賀有明水振セ）・
二羽恭介（兵庫農水技総セ）

9:00～9:05 趣旨説明 三上浩司(北大院水)

I. ノリ養殖の現状と課題:水産試験場での取り組み

座長： 川村嘉応(佐賀有明水振セ)

9:05～ 9:25	1. 日本のノリ養殖と「全国ノリ研究会」の活動	小林正裕(水研セ中央水研)
9:25～ 9:45	2. 関東におけるノリ養殖の現状と課題	林 俊裕(千葉水総研セ)
9:45～10:05	3. 東海におけるノリ養殖の現状と課題	岩出将英(三重水研)
10:05～10:25	4. 瀬戸内海におけるノリ養殖の現状と課題	清水泰子(岡山県水産課)
10:25～10:45	5. 有明海におけるノリ養殖の現状と課題	横尾一成(佐賀有明水振セ)

10:45～11:00 休憩

II. スサビノリの基礎生物学

座長： 二羽恭介(兵庫農水技総セ)

11:00～11:25	1. 形態形成の仕組みとその解析ツールの整備・開発	三上浩司(北大院水)
11:25～11:50	2. 膜脂質脂肪酸の構成と特徴	板橋 豊(北大院水)
11:50～12:15	3. 環境に応答して発現する遺伝子の解析	柿沼 誠(三重大院生資)
12:15～12:40	4. ノリゲノム解読～紅藻のモデル生物として～	中村洋路(水研セ中央水研)

12:40～14:00 休憩(昼休み)

座長： 三上浩司(北大院水)

14:00～14:25	5. 色素変異体とその作出方法	二羽恭介(兵庫農水技総セ)
14:25～14:50	6. 光合成色素タンパク質遺伝子の変異解析	小檜山篤志(北里大海洋)
14:50～15:15	7. 海藻多糖の構造と機能	濱 洋一郎(佐賀大農)
15:15～15:40	8. プロトプラストを用いた発生学	荒木利芳(三重大社会連携研究セ)
15:40～16:05	9. 魚類・二枚貝類の飼料への有効活用	吉松隆夫(三重大院生資)

16:05～16:15 休憩

III. 総合討論

座長： 三上浩司(北大院水)・小林正裕(水研セ中央水研)・

川村嘉応(佐賀有明水振セ)・二羽恭介(兵庫農水技総セ)

16:15～16:45 ノリ漁業における基礎研究と現場の対話強化の可能性について

閉会の挨拶

小林正裕(水研セ中央水研)

企画の趣旨

日本の重要な海産食資源の1つであるスサビノリの養殖においては、ノリ養殖の技術革新、選抜育種による多収性品種の開発などにより、戦後、飛躍的にノリ生産量が増加した。しかし、深刻化するノリの色落ち、蔓延するノリの病害、魚類や鳥類による食害、さらに地球温暖化の影響により、近年、ノリ生産量は減少の一途をたどっている。

本シンポジウムは、これまで個別に研究・開発を進めてきた大学等の研究機関と各県水産試験場の間でそれぞれの成果を共有することで、強固なネットワークを形成し、スサビノリ生産の持続性に資する研究の方向性についての全国的なコンセンサスを得ることを目的として企画した。